



Reitaku Overseas Development Association

# RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和5年  
(2023)  
2月20日

## 第33号

第20巻第2号  
年2回発行

### 主な記事

巻頭 〈タイ〉国家社会に貢献する人財を育てる

報告 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会  
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1  
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953  
<https://www.reitaku.or.jp>  
発行人・濱島直隆／編集人・横山守男

## タイ 国家社会に貢献する人財を育てる

— RODAが支援する「タイの教育プログラム」を視察 —

令和4(2022)年12月24日(土)から30日(金)まで、当財団(麗澤海外開発協会/RODA)が支援し、タイ王国のバンコクとチェンライで活動している三団体を濱島直隆(当財団常務理事・事務局長)と桑島義智(当財団理事・事務局員)が視察しました。

### JILAF バンコク・スラムでの教育

#### ミャンマーからの出稼ぎ労働者の子供たちへ教育支援を実施

最初に訪れた所は、バンコク・オンヌット地域のスラムです。ここでは当財団が支援しているJILAF (Japan International Labour Foundation-Thailand / 所長=関口輝比古さん〈麗澤大学卒業生〉)の活動を視察しました。ミャンマーからの出稼ぎ労働者の子供たちを対象に、ラーニングセンターでの授業を実施し、モバイルライブラリー(移動図書館)による絵本の貸し出しや読み聞かせ、公衆衛生教育等を実施しています。

タイでは一般的にゴミは焼却せずに、広大な土地への埋め立て処分をしています。埋め立てる前に、売れそうなもの、再利用できそうなものを仕分けして、リサイクル業者に売ります。このスラムでは分別する前のバンコク中のゴミが集まる集積所であり、集積所に囲まれた形で、約300の家屋があり、約2,000人が住んでいます。約300の家屋のうち、タイ人のものが約170、ミャンマー人のものが約130になるとのことでした。



JILAF所長の関口輝比古さん

#### 子供たちにタイ語の読み書きや算数を教える

タイと陸続きになっているミャンマーからは、出稼ぎのためにバンコクへ不法入国している人も多いようですが、経済成長が著しいタイでは、彼らが労働力となっている側面もあります。

ここで暮らすミャンマーからの出稼ぎ労働者の子供たちの多くは、公立学校に通うことができない状態です。そこでJILAFでは、タイ語の読み書きを教えるラーニングセンターを設置し、子供たちが学校へ通うために必要なタイ語や算数等を教えています。



バンコク市内オンヌットのスラムで



タイ語を教えるラーニングセンターの様子

## 炎天下でのクリスマス・イベント

クリスマスの12月25日には、炎天下の中、子供たちを対象にしたクリスマス・イベントが開催されました。30人近くの子供たちが道路脇のスペースに集まり、タイやミャンマーの民族舞踊、じゃんけんゲームやくじ引きによる遊具等の景品のプレゼント、また子供たち自身による絵本の読み聞かせなどがあり、大いに盛り上がった時間となりました。

イベントの終盤には、当財団が支援するJILAFによるタイ米や遊具等の贈呈が行われました。関口さんは「子供たちとその家族が参加できる、今回のようなイベントをこれからも継続して、年に2回ほどは企画したい」と話していました。



ミャンマーの民族舞踊を披露



絵本の読み聞かせ



イベントに参加した子供たち

## メーコック財団

## 国家社会に貢献する人財教育

### 子供たちの教育支援や職業訓練を行う

次に訪れたのは、チェンライ県のメーコック財団(代表=アノラック・チャイスリンさん)です。当財団の顧問である竹原 茂(麗澤大学名誉教授)が1990年に設立者の一人となって活動が始まり、当初は地元の山岳民族を対象とした麻薬治療・リハビリ・職業訓練を実施していました。

2000年頃より麻薬患者の子供や教育を受けられない子供たちを受け入れ、教育支援や職業訓練に活動をシフトしています。現在は3歳から17歳までの23人の子供たちが寮生活をして学校に通っています。

子供たちがメーコック財団で生活するまでには様々な家庭の事情がありました。ある3歳の男の子は父親がアルコール中毒と麻薬中毒になり、行政からの依頼でメーコック財団に託されたと聞きました。



メーコック財団の子供たちと一緒に  
左写真は代表のアノラックさん



### 皆さんの支援で教育できることに感謝

滞在2日目の夕食時に停電になりましたが、幼い頃から停電に慣れた子供たちは、全く動じることもなく、ライトやろうソクの明かりで夕食を食べ、翌朝の電気復旧まで過ごしました。日本では停電を復旧させるために、ブレーカーのチェックなどをするのですが、ここでは停電も「そのうちに直るさ」と言わんばかりの落ち着いた様子で、不便さも生活の一部とする態度に感心せざるを得ませんでした。

3日目の夜、メーコック財団の子供たちとの交流会が開かれ、子供たちからはタイに伝わる民族舞踊の披露がありました。当財団の桑島からは空手道の演武があり、子供たちから大きな拍手を受けていました。

メーコック財団代表のアノラックさんは「RODAの皆さんのご支援により、ここの子供たちがタイや地域社会に貢献するための人財教育ができています。会員の皆様にくれぐれも感謝の気持ちをお伝えください!」と話していました。



敷地内を掃き掃除する



調理場での様子



通学するバスの車内で



近隣のカレン族の家で



交流会ではタイの民族舞踊や空手道の演武が披露されました



## ルンアルン(暁)プロジェクト 子供たちへの教育が新しい夜明けになるように

### 少数民族の子供たちのお世話で活動がスタート

最後に訪れたのは、メーコック財団から車で2時間ほど移動し、同じチェンライ県で活動しているルンアルン(暁)プロジェクトです。代表の中野穂積さんが、39年前の1984年に、少数民族の中学生たちが学校に通えるように、この地に寮を建てたことが、そのスタートになります。寮母として11人の学生を預かったことから、ルンアルン(暁)プロジェクトが始まりました。ルンアルン(暁)という名前は、深い夜の闇から立ち昇る暁の光を表し「子供たちへの教育が新しい夜明けになるように」と中野さんが名付けました。当財団では、2009年からこの教育活動を支援しています。



RODAからの助成金をお渡ししました



右写真は代表の中野穂積さん

### コーヒー苗を育て豆の収穫を通じて教育支援を行う

現在では中学生を預かる寮は役目を終え、少数民族の高校生・大学生への奨学金による教育支援を中心に活動しています。山地に暮らす人々の生活向上、山の環境保護への思いから、中野さんは2008年より種から有機栽培でコーヒーの苗を育てるコーヒープロジェクトをスタートしました。



コーヒー農園にて豆を収穫しました

中野さんの事務所から車で2時間ほど移動した標高1,100メートルの山の畑に、2011年に5,000本の苗が植えられました。そして2013年に初めてのコーヒー豆が収穫されました。換金率が高いコーヒー栽培は、かつての焼畑に代わる持続型農業として、山岳地域の人々に広められ、皆さんの生活向上に役立っています。

私たちが訪問した日は、現地スタッフの皆さんに伴われて2時間ほどコーヒー豆収穫のお手伝いをし、8人で40キロの豆を収穫しました。約40年前に中野さんという一人の女性から始まったこの教育支援活動。当財団が、そのお手伝いの一助となっている様子を感じた1日でした。

RODAでは、今回の視察内容を多くの学生・社会人の皆様に提供するとともに、より積極的に教育支援活動を進めてまいります。今後とも当財団へのご支援をよろしくお願いいたします。

## たくさんのご支援、ありがとうございます

〈令和4年4月1日～令和5年1月31日〉掲載に同意された方をご紹介します。(順不同)

### ■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、株式会社ピアかざりや、新井秀啓、内田八代、長谷和治、竹原茂、土谷和光、林正勝、栗山清和、横山守男、杉浦廣道、小松務、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、大谷誠之、横山印刷株式会社、今井收、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、佐藤薬品工業株式会社、松本哲洋、山本浩、小西直之、藤村薫、望月一雄、古川定邑、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、井上源一、太田徳昭、増田一江、水田恵一郎、小林雅純、永治達彦、濱井利一、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、有限会社弘明堂、須見好和、松岡孝柁、三木実、河村満、風澤俊夫、菅間正則、岩田英志、横山明弘、菅澤運一、大山圭子、杉山直、岸上肇、長谷真千子、田中一宏、板垣廣光、田中聖則、沖野二郎、北川治男、村瀬泰比古、鈴木貞夫、小西正純、森口真美、淡島成高、鈴木孝明、森田武志、青木久子、世田谷北沢モラロジー事務所、赤松良平、結城保、田口英樹、関口輝比古、奥光明、飯島孝夫、塚谷仁志、佐久間三郎、杉山幸史、福代明正、濱島直隆、北澤泰子、藤田恭子、井上景介、吉井清隆、上萩洋三、田中孝夫、田中裕子、藤田和広、伏木重夫、斉藤清員、廣池加津子、我孫子利和、落合博志、黒須里美、出口孝信、和田淳司、西村晴夫、長谷愛子、木野稔、村田ボーリング技研株式会社、山口保安工業有限公司、加古川モラロジー事務所、上総モラロジー事務所、小松島モラロジー事務所、川越・富士見モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、秩父モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、尾道モラロジー事務所、草加モラロジー事務所、千葉中央モラロジー事務所

### ■準会費

俣野貴昭、長谷憲治、長谷美世子、佐藤惇、尾崎哲子、小林千織、DUONG LAM THAO VI、鈴木一洙、杉田汐里、小曾根凜、大和田花、山岡幹人、館田汐里、三浦彩音、土岐萌々花、織戸美有

### ■一般寄付金

廣池幹堂、山口明、内田八代、長谷和治、渡辺康博、横山守男、山本祥子、望月賢一、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、山崎純雄、和田悦治、大住敬一、福井博康、荻野益男、井上照悟、松岡孝柁、井川好長、木崎重安、横山明弘、澤政利、福田靖久、藤尾侑男、佐藤惇、田中聖則、杉山雄彦、松本光世、行本まり子、三浦順治、山田武司、森田政見、沖野二郎、八代京子、青木久子、増田つかさ、神永正男、上萩洋三、木野稔、野瀬昌彦、落合博志、出口孝信、長谷愛子、麻野純一、市ノ渡廣志、笠原国次、笠原伸泰、加藤芳彦、神田茂、北敬子、橘高重久、合田孝一、雑賀正光、齋藤壽子、佐久間八重子、柴垣明昌、島崎執、鋤柄誠治、関俊章、大柴吉郎、高坂賢吉、高野橋弘、寺坂富俊、長井孝介、西畑光廣、西村忠雄、野中康弘、橋本皇子、藤本武則、前島義人、三浦洋嗣、三笠忠克、光安輝雄、三上ハツミ、増田顕次郎、御代川克之、矢沢倫子、吉山八郎、株式会社三國一、野田ミート株式会社、株式会社小松製菓、山口保安工業有限公司、東京港モラロジー事務所、株式会社ダイキョープラザ、坂井モラロジー事務所、長岡京モラロジー事務所、四日市西部モラロジー事務所、北空知深川モラロジー事務所、東近江モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、盛岡モラロジー事務所、小松能美モラロジー事務所、須賀川モラロジー事務所、西入間モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、静岡市葵モラロジー事務所、和歌山モラロジー事務所、美津島モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、千代田モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、米子モラロジー事務所、大阪城東モラロジー事務所、岸和田モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、小樽モラロジー事務所、大阪生野モラロジー事務所、浜松西モラロジー事務所、有田モラロジー事務所、今治モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、長崎モラロジー事務所、流山モラロジー事務所、三戸モラロジー事務所、南陽モラロジー事務所、松戸モラロジー事務所、美馬モラロジー事務所、天草モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所

### ■竹原基金

廣池幹堂、山口明、内田八代、長谷和治、竹原茂、横山守男、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、長谷篤治、所一彌、山田雅雄、山本浩、大垣モラロジー事務所、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、福井博康、荻野益男、桑島朋子、松岡孝柁、三木実、井川好長、森田政見、沖野二郎、八代京子、青木久子、山田莊一、神永正男、藤田和広、野瀬昌彦、長谷愛子、片山道則、加藤信次、桑島祥子、小林一正、島崎執、千葉静子、長井孝介、長谷川卓司、三浦洋嗣、支援キルトの会ふーぷ、山口保安工業有限公司、高浜モラロジー事務所

《会員・寄付金・竹原基金を募集しています》

麗澤海外開発協会は、皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。会員等での入会と寄付金・竹原基金にご支援いただきますようお願い申し上げます。

種 類	年 額
会 費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準 会 員	1口2千円(1口以上)
寄 付 金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人

麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL：04-7173-3165

FAX：04-7173-8953

E-mail：kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP：https://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。